

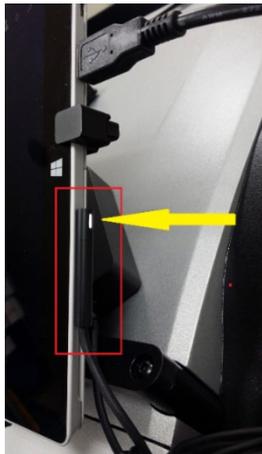
トラブルシューティング&よくあるお問い合わせ

Q1. 使用中のタブレット PC の画面が消えてしまいました。

A1. タブレット PC のバッテリーが切れてしまった可能性があります。

下図のように、タブレット電源の白いランプが点いているかを確認してください。点いてない場合には、AC アダプターに電源コードがしっかりと差し込まれているか、使用しているコンセントは通電しているかを確認してください。

【白いランプの点灯確認】



【電源コードの緩み確認】



Q2. しばらくぶりに GloMax® Navigator を使うのですが、タブレット PC の電源が入りません。

A2. タブレット PC の充電池が完全に Empty になっている場合、タブレット PC の電源は入りません。コンセントを繋いで、数時間程度の充電を行ってから、再度お試しください。放電の状況によっては半日から 1 日程度の充電が必要な場合があります。

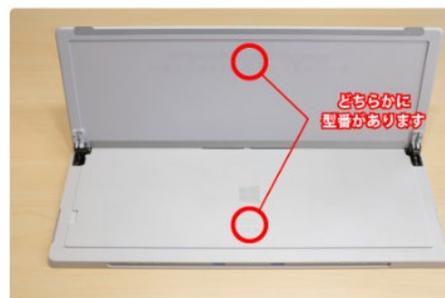
Q3. タブレット PC が正常に起動しません。

A3. タブレット PC の強制終了をすることで、症状が改善する場合があります。タブレット PC の型番により対応が異なりますので、下記を参照ください。

タブレット PC の型番を確認します。



まずは背面側キックスタンドを持ち上げます



持ち上げたキックスタンド裏か本体側に型番があります

型番が 1601、1631、1724 の場合は、電源ボタンと音量を上げるボタンを 15 秒間同時押しします。

途中で、ロゴが出てくる場合がありますが、そのままボタンを押し続けてください。

そのあと、10 秒ほど待って頂き、再度電源ボタンを押して、起動をするか確認をしてください。

型番が上記以外の場合は、電源ボタンを 20 秒長押しし、Windows のロゴが表示されたら電源ボタンを離します。

Q4. GloMax® Navigator のソフトウェアが起動しません。“Cannot connect to the instrument Device not found; is it turned off or disconnect?”とメッセージが出ます。

A4. タブレット PC と GloMax® Navigator 本体のデータのやり取りができていない場合に表示されるエラーメッセージです。

対処法① USB ケーブルがしっかりと接続されているか、確認してください。（GloMax® Navigator 本体背面とタブレット PC の右横のポート）改善されない場合は対処法②をお試しください。

対処法② GloMax® Navigator 本体の認識に失敗している可能性がありますので、一度 GloMax® Navigator 本体とタブレット PC の電源を切ってください。そして、両方の電源ケーブルをコンセントから抜いてください。5 分～10 分そのまま放置します。

（電源の供給をなくすことで、メモリのクリアをします）

5～10 分経過後、再度コンセントについて GloMax® Navigator 本体とタブレット PC の電源を入れて、GloMax® Navigator のソフトウェアを起動してください。

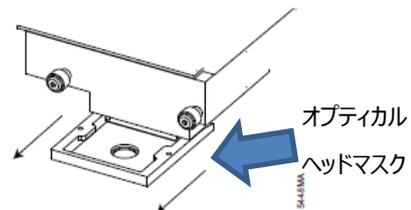
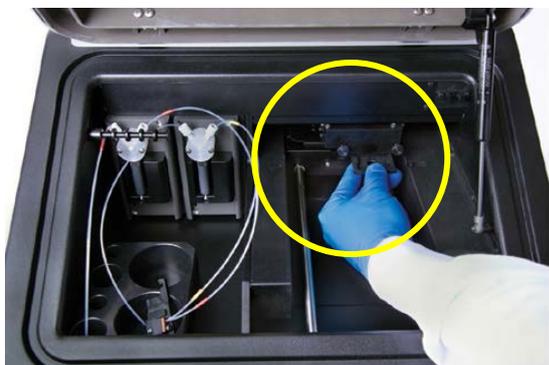
Q5.トレイの移動時に異音が発生する、もしくはエラーメッセージ“Opto-interrupter (bit 3) is not closed”が出て止まってしまうことがあります。

A5. オプティカルヘッドマスクの下面とサンプルトレイカバーの上面への試薬付着等による汚れが原因で起こる場合があります。その際は、下記のクリーニングをお試しください。

1. GloMax® Navigator の電源を OFF にした状態で、下図を参考に、チューブホルダーを止めているネジを緩めてください。



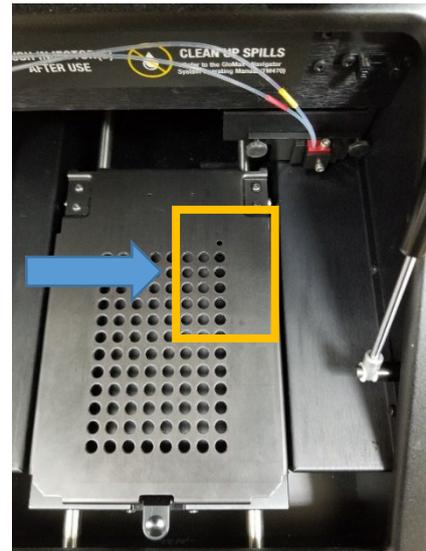
2. サンプルトレイを奥側に押し込み、オプティカルヘッドマスクを手前に引き出します。



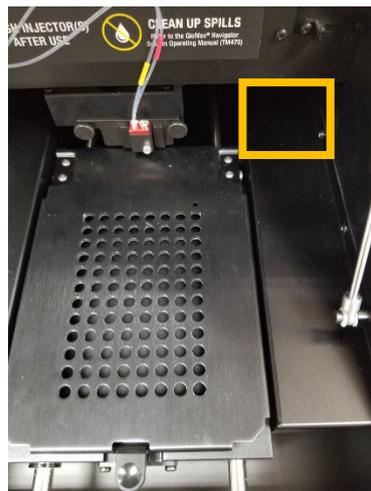
3. オプティカルヘッドマスクの下面(トレイカバーと接する面)を 70%エタノールでしっかり拭いてください。
4. 拭き終わったら、オプティカルヘッドマスクを元の位置に戻し、さらに、チューブホルダーの止めネジを締めてください。

5. サンプルトレイを手前に引き出し、サンプルトレイカバー上面を、きれいに拭いてください。

光学ヘッドマスクと交差する赤枠の部分は、特に汚れやすいので、70%エタノールでしっかり掃除をしてください。



6. 光学ヘッドマスクを真ん中あたりに移動をさせて、右奥のホームポジション（光学ヘッドマスクの初期ポジション）を掃除してください。



7. サンプルトレイと光学ヘッドの位置を移動させてから、電源を入れてご使用ください。

光学ヘッドマスクは
一番右側まで移動させます



サンプルトレイは一番奥まで移動させます

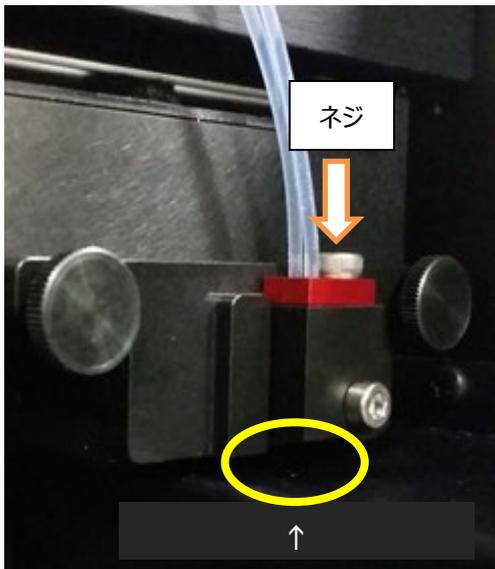
Q6. インジェクターで正確に分注ができていないようです。

A6. 下図を参考に、チュービングの不確実な接続や、空気漏れがないように接続部に緩みのないことを確認してください。

- 1) チュービングがしっかりと差し込まれているか確認してください。緩んでいる場合はしっかりと上方から差し込んで下さい。納品時にお渡ししている六角レンチで下図のネジを調整してください。

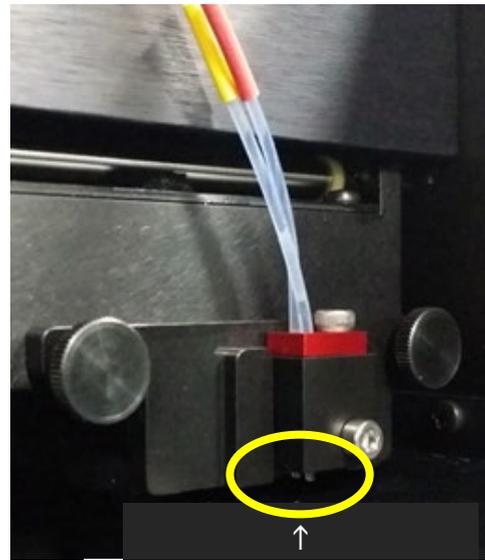
*チューブを固定した装置もごさいます。この 1) につきましては、固定がされていないチューブに対するご案内となります。

NG : しっかりとチューブが接続されていない状態



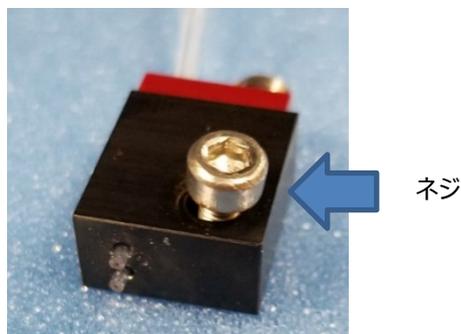
チューブの先端が見えていません

正常 : きちんと奥までチューブが接続されている状態。



チューブの先端が見えています

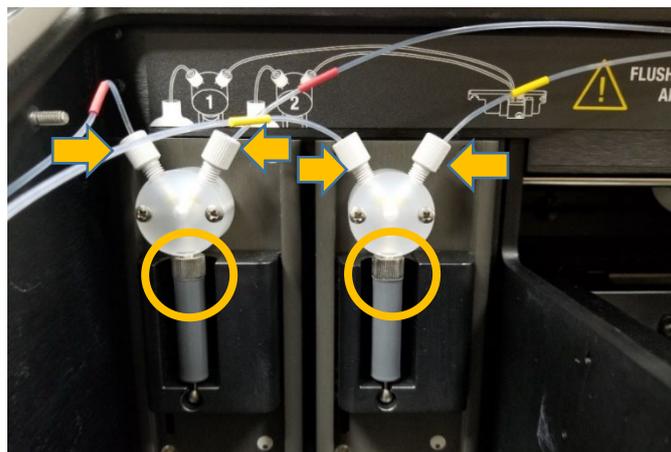
- 2) チューブの先端が試薬などで汚れていないかを目視でご確認ください。汚れがあると、斜めに液が飛び散る事や、チューブが詰まる場合がございます。汚れている場合はチュービングガイドを止めているネジを付属の六角レンチで外して頂き、70%エタノールを含ませた布等で清掃をしてください。清掃が終わったら、元通りに設置してください。



↑チュービングガイド

- 3) インジェクターのバルブ周辺の緩みが無いかを確認してください。緩んでいる場合は、しっかりと手で締めてください。チューブに漬

れや変形が無いかも確認してください。



Q7. Prime や Flush、分注を使用する時にエラーメッセージ“Pump Error : Plunger Overload”が出て止まっています。

A7. チューブ内の圧が強くなると、このようなメッセージが出る場合があります。チューブ内部に異物や詰まりがないか、チューブにつぶれがないかを確認してください。

Q8. 特定のウエルを測定するとき、値が高く出てしまいます。

A8. サンプルトレイカバーに試薬の付着などがあると、値が高く出ることがあります。70%エタノールを含ませた布等で、サンプルトレイカバーの表と裏を掃除してください。



表



裏

Q9. クリアプレートを使用すると、メッセージ“No plate detected in the instrument”が出てきてしまいます。

A9. GloMax® Navigator では、トレイ底部のセンサーを使用してプレートの有無を検知しますので、透明のプレートは検知することができません。白、もしくは黒色のプレートをご使用ください。

Q10. スプリットウエルプレートは使用できますか。

A10. スプリットウエルプレートにつきましては、装置の動作に影響を与える可能性があるため、ご使用にならないください。

Q11.96 穴ハーフエリアプレートにインジェクターは使用できますか？

A11. 通常サイズの 96 穴プレートへの分注にあわせて設計をされている装置の為、96 穴ハーフエリアプレートの場合はウエルサイズが小さい為、分注が的確に行われません。そのため、インジェクターでのご使用は推奨しておりません。

お問い合わせ先

ご不明な点やご質問は下記までお問い合わせください。

プロメガ株式会社

電話 : 03-3669-7980

e-mail : prometec@jp.promega.com